GREEN HOUSE™

FULL HD 30FPS

DRIVE RECORDER

取扱説明書

目次

目次 1
安全上のご注意 (安全に正しくご使用いただくために) 2
使用上のお願い 5
免責事項 7
システム要件 8
製品構成の確認 8
各部のなまえ 9
準備する 13
操作説明 / 画面表示 18
Gセンサーについて 28
録画モードについて 29
外部出力について 30
録画したファイルをパソコンに取り込む 31
本体設定 32
製品仕様 34
故障について 35

安全上のご注意（安全に正しくご使用いただくために）

製品を安全に正しくお使いいただき、人の被害やものの損害を未然に防ぐための重要な内容を記載しています。次の内容をよく理解してから本文をお読みになり、注意事項をお守りください。

なお、ここに示していない注意事項でも、状況によっては、死亡したり、重症を負うおそれがあります。必ず、ここに示す安全上のご注意をお守りください。

⚠危険　この注意事項を守らないと、特に、死亡したり、重症を負うおそれがあります。

異常が発生した場合

●発煙、発熱、異臭、異音が発生したら、すぐに電源を切り、専用シガーソケットアダプタのプラグをアクセサリーソケットから取り外してください。そのまま使用すると、火災や感電の危険があります。煙がでなくなったことを確認の上、購入店、または、弊社テクニカルサポートへご連絡ください。

設置について

●取付ホルダーをフロントガラスに設置する場合、フロントガラスの上端から下端にかけての長さに対して上端から20%以内の範囲で運転操作や運転者の視界の妨げにならない位置に、付属の両面テープを使用してしっかり貼り付けてください。

●取付ホルダーをフロントガラスに設置する場合、事前に車内側のガラス面をきれいに拭いてください。

●取付ホルダーをエアバッグの作動範囲内に設置しないでください。

●取付ホルダーをダッシュボードに設置する場合、運転操作や運転者の視界の妨げにならない位置に、付属の両面テープを使用してしっかり貼り付けてください。

●取付ホルダーに本体を取り付ける場合は、ぐらつきのないようにしっかりと取り付け、定期的に取り付け直してください。

●専用シガーソケットアダプタのケーブルは内装のすきまに入れたり、コードクリップで固定したり、運転操作の妨げにならないように引き回してください。

●運転者は運転中に本体を操作しないでください。

●運転者は運転中に本体の画面などを注視しないでください。

●運転者が本製品を操作する場合は、駐停車を禁止された場所ではない安全な場所に停車してから行ってください。

●本製品を医療用電気機器の近くで使用しないでください。

⚠警告 この注意事項を守らないと、死亡したり、重症を負うおそれがあります。

使用について

●必ず付属の専用シガーソケットアダプタか専用USBケーブルを使用してください。
●落下や衝撃により破損したら、使用しないでください。
●本体や付属品を分解したり、改造、加工を行わないでください。
●本体や付属品をふんだり、のったり、投げたり、落としたりしないでください。
●本体や付属品の内部へ、水や異物を入れないでください。

電源について

●専用シガーソケットアダプタは自動車(マイナスアース車に限る)用12ボルト直流電源(DC12V)、または、24ボルト直流電源(DC24V)のアクセサリーソケットにしっかり挿し込んで使用してください。
●専用シガーソケットアダプタのプラグはエンジン始動後に接続してください。
●専用シガーソケットアダプタのプラグや車両のアクセサリーソケットは、定期的に掃除を行ってください。
●専用シガーソケットアダプタにものをのせたり、引っぱったり、ねじったり、無理に取り扱ったり、傷つけたりしないでください。
●傷ついた専用シガーソケットアダプタや専用USBケーブルを使用しないでください。
●濡れた手で専用シガーソケットアダプタや車両のアクセサリーソケットに触れないでください。
●車両のアクセサリーソケットが破損した状態で、専用シガーソケットアダプタを挿し込まないでください。
●専用シガーソケットアダプタを本体や車両のアクセサリーソケットに抜き挿しする場合、プラグを持ってください。
●専用シガーソケットアダプタは車両のアクセサリーソケットに直接挿し込み、分配や分岐したアクセサリーソケットには挿し込まないでください。
●専用シガーソケットアダプタをACC配線などに直接接続したり、専用シガーソケットアダプタから他の機器の電源を取ることはしないでください。

お手入れについて

●専用シガーソケットアダプタのプラグのお手入れは、専用シガーソケットアダプタのプラグを車両のアクセサリーソケットから取り外して行ってください。

⚠注意 この注意事項を守らないと、ケガをしたり、ものに損害を与えるおそれがあります。

使用について

●本体や付属品に強い衝撃を与えないでください。
●本体の液晶ディスプレイを強く押したり、先のとがったものを当てたりしないでください。
●日射や車内温度、連続使用などによって本体が熱くなることがありますので、直接指で触れないでください。
●動作温度範囲(-10℃～65℃)を超える状態で使用しないでください。
●対応するmicroSDメモリーカードを使用してください。
●microSDメモリーカードを本体の挿入口へ挿し込む場合、microSDメモリーカードの向きに注意し、まっすぐ挿し込んでください。
●microSDメモリーカードの破損や記録された映像の消失を防ぐため、microSDメモリーカードの抜き挿しは、本体の電源がOFFの状態を確認してから行ってください。
●破損や変形、補修のあるmicroSDメモリーカードは使用しないでください。
●目的外の使用はしないでください。

お手入れについて

●お手入れの際は、電源をOFFにし、専用シガーソケットアダプタを車両のアクセサリーソケットから取り外してから行ってください。
●汚れは、やわらかい布で軽く拭き取ってください。
●ひどい汚れは、やわらかい布を水にひたし、よくしぼってから拭き取ってください。
●カメラレンズ部分の汚れは、やわらかい布を水にひたし、軽く拭き取ってください。
●ベンジンやシンナーなどの溶剤、強力な洗剤、磨き粉、化学ぞうきんは使用しないでください。
●殺虫剤や揮発性のものは使用しないでください。
●ゴムやビニール、シール、テープなどを本体や付属品に長時間接触させたままにしないでください。

使用上のお願い

使用について

●本製品は事故の検証に役立つことも目的の一つとした製品ですが、証拠としての効力を保証するものではありません。
●本製品で記録した映像は、その使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害することがあります。
●撮影状況によって、記録した映像から信号機の灯色を判別できないことがありますので、その場合は記録された映像の前後や周囲の車両の状況から判断してください。
●LED式信号機は目に見えない速さで点滅しているため、記録した映像では信号機の灯火が点滅していたり、灯色を判別できないことがありますので、その場合は記録された映像の前後や周囲の車両の状況から判断してください。
●設置状況や走行状況により、衝撃の検知ができたり、検知ができなかったりすることがあります。
●低速での衝突や相手車両との相対速度が小さい状態での衝突などでは、衝撃の検知ができないことがあります。
●バンパーやドア、タイヤボックスといった車両の衝撃緩和箇所への衝突などでは、衝撃の検知ができないことがあります。
●衝突の相手車両が軽量であったり、相手方が人や自転車などでは、衝撃の検知ができないことがあります。
●衝撃が受け流されるような、相手車両に対して平行に近い状態での衝突などでは、衝撃の検知ができないことがあります。
●タイヤと路面との摩擦が少ない雪道や凍結路で急ブレーキをかけるなどでは、衝撃の検知ができないことがあります。
●本製品が固定されていないなど、設置状態に問題がある場合では、衝撃の検知ができないことがあります。
●エンジンをOFFにしても車両のアクセサリーソケットに電力が供給されている車種の場合、車両のバッテリ上がりを防ぐため、使用後、専用シガーソケットアダプタを車両のアクセサリーソケットから取り外してください。
●アイドリングストップ車では、アイドリングストップ時やアイドリングストップからの復帰時、車両のアクセサリーソケットへの電力の供給が停止し、本体の電源がOFFになる場合があります。

磁気や電磁妨害について

●磁気の影響をさけるため、磁石や磁石を使用した機器を本製品に近づけないでください。
●電磁波の影響をさけるため、電磁波を発する機器を本製品に近づけないでください。
●磁気や電磁妨害によって、映像が乱れたり、雑音が発生したり、記録した映像が消失する場合があります。
●GPS機能を持つ機器やVICS受信機の近くに設置すると、誤動作が生じる場合があります。
●テレビアンテナの近くに設置すると、誤動作が生じる場合があります。

カメラについて

●記録した映像の一部にゆがみや影が生じることがありますが、故障ではありません。
●フロントガラスの右側や左側に設置した場合、記録した映像が右側や左側に偏りますので、できるだけ中央部(ルームミラーの前方など)に設置してください。
●車検により検査標章(ステッカー)を貼り替える際は、カメラの撮影範囲内に検査標章(ステッカー)を貼らないようにしてください。
●フロントガラスやカメラレンズに水滴や汚れなどが付着していると、記録した映像が鮮明でないことがあります。
●トンネルへの出入りなど急激に明るさが変化する場合や逆光が強い場合、夜間の光源がない場合、雨天荒天の場合などでは、記録した映像が鮮明でないことがあります。
●太陽光やヘッドライト、雪など高い輝度の被写体では、光の中心部分が黒くなったり、その周辺が白くなったりする場合がありますが、故障ではありません。
●カメラ内部に湿気などが吸い込まれることを防ぐため、カメラレンズを傷つけないでください。

データについて

●付属のmicroSDメモリーカードをフォーマットすると、保存されている専用GPSソフトウェアが消去されますので、フォーマットを行う前に、専用GPSソフトウェアをパソコンなどにコピーしてください。
●本製品で使用するmicroSDメモリーカードは、他の機器と共用しないでください。
●認識や記録が不安定になった場合、フォーマットを実行するか、新しいmicroSDメモリーカードと交換してください。
●使用するmicroSDカードの容量によっては、読み込み時間が長くなる場合があります。
●本体にmicroSDメモリーカードを挿し込んでいない場合や取り出した場合、対応するmicroSDメモリーカード以外を使用した場合、microSDメモリーカードが破損している場合、電源ケーブルを接続していない場合など、映像が記録されません。
●記録した映像は、記録日時が古い順に、新しい記録によって上書きされ、消去されます。
●記録した映像を残す場合は、パソコンなどにコピーしてください。
●使用するパソコンによっては、記録した映像を再生時、映像が乱れたり音声が途切れたりすることがあります。
●映像が記録できなかった場合や記録した映像が破損した場合など、弊社は一切の責任を負いません。
●microSDメモリーカードは性質上、書き込み可能回数などに製品寿命がある劣化消耗するものとなりますので、定期的に新品に交換することをお勧めいたします。

免責事項

●取扱説明書やパッケージの記載に従った使用でない場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
●落下、衝撃、圧力、負荷といった外的要因による故障の場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
●火災、地震、落雷、風水害といった自然災害による故障の場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
●消耗、劣化による故障の場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
●記録媒体に保存したデータが破損、消失した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
●製品の使用にともなって事業利益を逸失した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
●製品の使用にともなって関連装置が故障した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
●製品の使用にともなって事故や交通違反が発生した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
●関連装置との互換性によって製品が使用できない場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
●記録媒体やデータの状態によって製品が使用できない場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
●本製品はご購入年月日から1年間の保証期間内に限り弊社保証規定が適用されるものとなりますが、両面シールやmicroSDメモリーカードなどの消耗、劣化については弊社保証規定が適用されません。
●本製品の故障や損傷などによって使用ができない場合であっても、使用を継続させるための代替製品の貸し出しなどは弊社で行っておりません。

システム要件

以下の仕様を満たしたパソコンが必要です。

●Windows 8.1 / 8 / 7 / Vista

●USBインターフェース搭載のDOS/Vマシン

●録画したデータを取り込むには、パソコンでの操作が必要となります。
パソコンの操作方法については、お持ちのパソコンのメーカーへお問い合わせください。

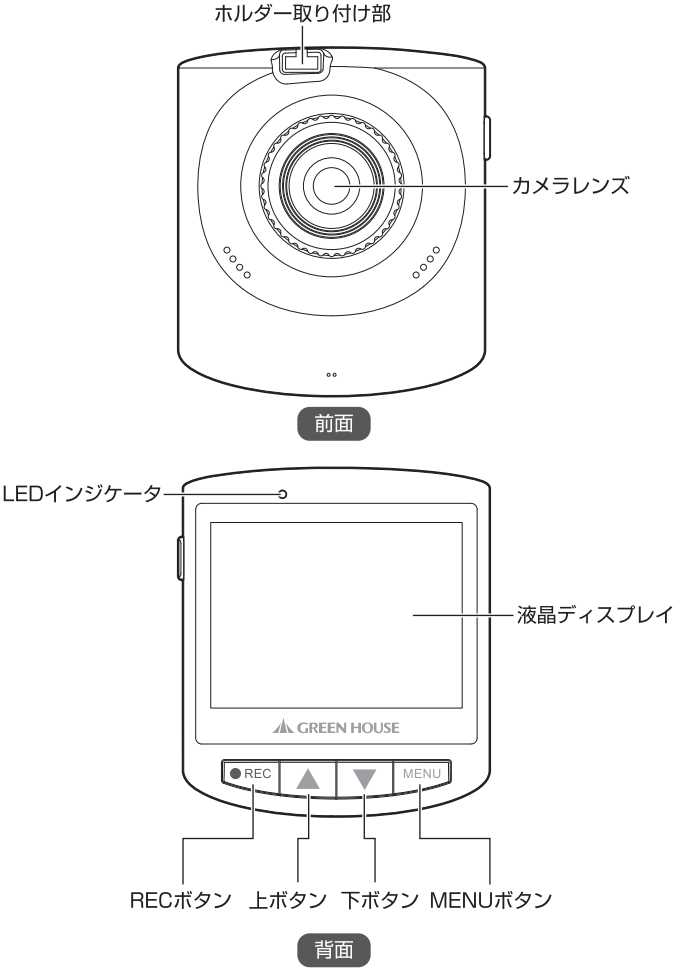
製品構成の確認

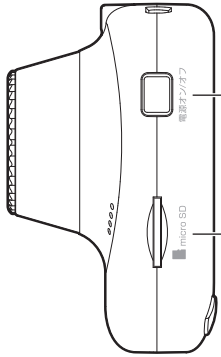
●パッケージの中に付属品がすべてそろっていることをご確認ください。

●製品に不足がないか確認し、万が一、製品の不足や損傷のある際は、購入店、または、弊社テクニカルサポートへご連絡ください。

■本体	1 台
■取付ホルダー	1 個
■両面シール(取付ホルダーに貼付済)	1 枚
■専用シガーソケットアダプタ	1 本
■専用USBケーブル	1 本
■microSDHCメモリーカード	1 個
■取扱説明書 (本書)	1 部
■保証書	1 部

各部のなまえ

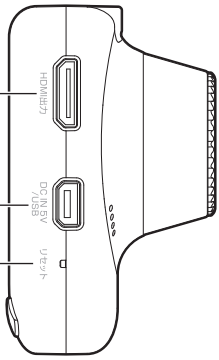

ホルダー取り付け部
カメラレンズ
前面
LEDインジケータ
液晶ディスプレイ
GREEN HOUSE
REC
MENU
RECボタン
上ボタン
下ボタン
MENUボタン
背面



電源ボタン

microSDカードスロット

右側面

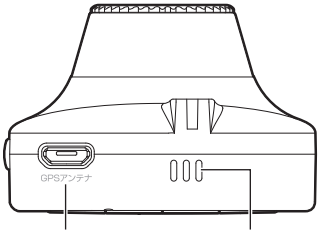


miniHDMI出力端子

miniUSBポート

リセット穴

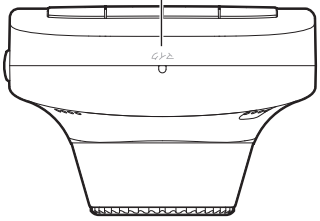
左側面



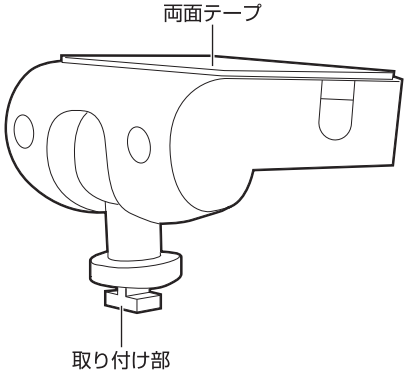
GPSアンテナジャック　スピーカー

上面

マイク



下面

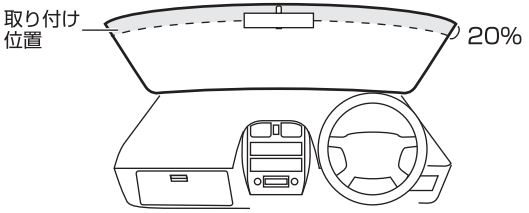


取付ホルダー

準備する

取り付け位置の注意

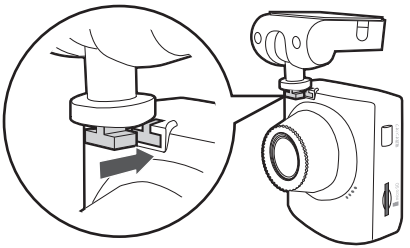
- ●取付ホルダーをフロントガラスに設置する場合、フロントガラスの上端から下端にかけての長さに対して上端から20%以内の範囲で運転操作や運転者の視界の妨げにならない位置に、付属の両面テープを使用してしっかり貼り付けてください。
- ●取付ホルダーをフロントガラスに設置する場合、事前に車内側のガラス面をきれいに拭いてください。
- ●取付ホルダーをエアバッグの作動範囲内に設置しないでください。
- ●取付ホルダーをダッシュボードに設置する場合、運転操作や運転者の視界の妨げにならない位置に、付属の両面テープを使用してしっかり貼り付けてください。
- ●取付ホルダーに本体を取り付ける場合は、ぐらつきのないようにしっかりと取り付け、定期的に取り付け直してください。
- ●専用シガーソケットアダプタのケーブルは内装のすきまに入れたり、コードクリップで固定したり、運転操作の妨げにならないように引き回してください。



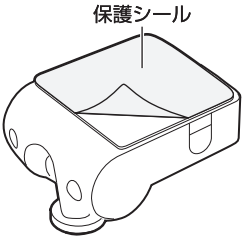
取り付け方

①取り付ける箇所の汚れやなどをしっかり取り除いてください。

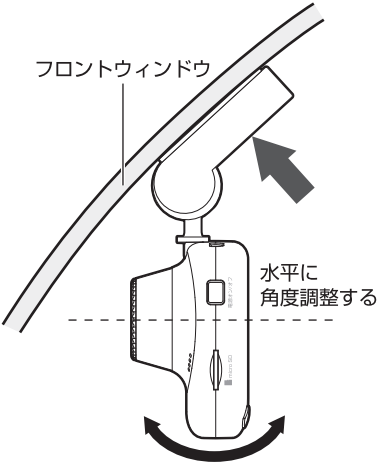
②取付ホルダーの取り付け部を本体上面のホルダー取り付け部に接続します。



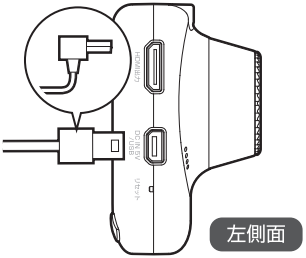
④取付ホルダーの両面テープの保護シールを剥がします。



⑤フロントウィンドウに両面テープをしっかりと押し付け、本体をレンズが水平になるように角度調整してください。

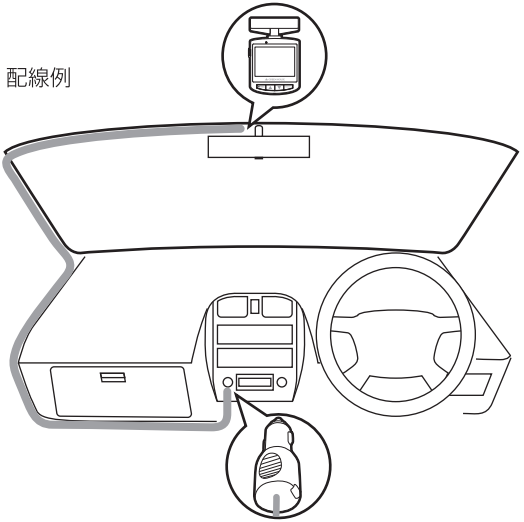


⑥専用シガーソケットアダプタのminiUSB端子を本体左側面のminiUSBポートに挿し込んでください。



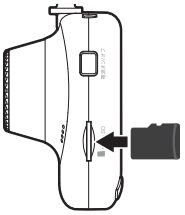
⑦付属のシガーソケットアダプタのケーブルを運転操作や運転者の視界、エアバックやセンサー類の妨げにならないように配線し、プラグを車両のアクセサリーソケットに接続します。

配線例

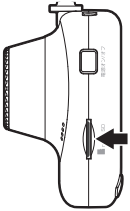


microSDメモリーカードを挿入する / 取り外す

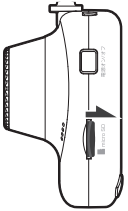
●microSDメモリーカードを挿入する際は、表裏を確認し、右図の向きに挿入してください。



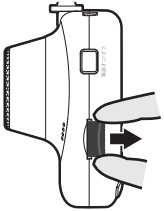
●microSDメモリーカードを取り外す際は、中央部を指で押し込み、出た先端をつまんでゆっくり取り外します。



中央部を押し込む



先端が出てくる



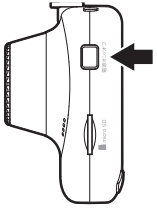
つまんで取り出す

microSDメモリーカードの注意

●付属のmicroSDメモリーカードをフォーマットすると、保存されている専用GPSソフトウェアが消去されますので、フォーマットを行う前に、専用GPSソフトウェアをパソコンなどにコピーしてください。
●本製品で使用するmicroSDメモリーカードには、他の機器と共用しないでください。
●認識や記録が不安定になった場合、フォーマットを実行するか、新しいmicroSDメモリーカードと交換してください。
●使用するmicroSDカードの容量によっては、読み込み時間が長くなる場合があります。
●本体にmicroSDメモリーカードを挿し込んでいない場合や取り出した場合、対応するmicroSDメモリーカード以外を使用した場合、microSDメモリーカードが破損している場合、電源ケーブルを接続していない場合など、映像が記録されません。
●記録した映像は、記録日時が古い順に、新しい記録によって上書きされ、消去されます。
●記録した映像を残す場合は、パソコンなどにコピーしてください。
●使用するパソコンによっては、記録した映像を再生時、映像が乱れたり音声が途切れたりすることがあります。
●映像が記録できなかった場合や記録した映像が破損した場合など、弊社は一切の責任を負いません。
●microSDメモリーカードは性質上、書き込み可能回数などに製品寿命がある劣化消耗するものとなりますので、定期的に新品に交換することをお勧めいたします。

電源について

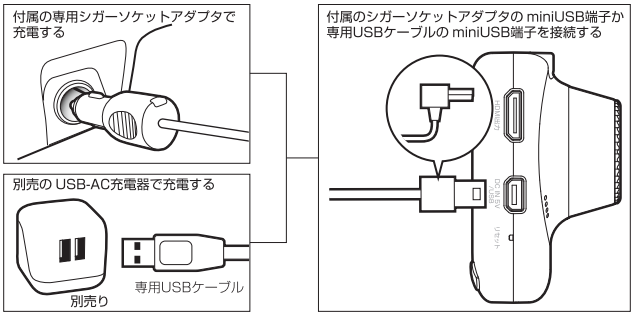
本体右側面の 電源オン/オフ ボタンを長押しすることで、電源のオン/オフをします。



初めて電源を入れる前に

- 開封後、初めて使用する際は、内蔵バッテリが放電している場合があります。
- 電源をオン/オフするには、電源ボタンを約2秒間押し続けてください。
- 専用シガーソケットアダプターを車両のアクセサリーソケットに挿入した状態で、エンジンを始動しないでください。
- 専用シガーソケットアダプタは、エンジンを始動し、アイドリングが安定してから車両のアクセサリーソケットに挿入してください。

内蔵バッテリを充電する



充電時間の目安 **約1時間15分**　動作時間の目安 **約15分(スタンバイ時)/約10分(録画時)**

- 内蔵バッテリは使用頻度や使用年数、使用環境によって劣化し、充電しても、動作時間が短くなったり、動作しなくなったりします。
- 内蔵バッテリの劣化を防ぐため、長期間使用しない場合でも定期的に充電を行ってください。
- 内蔵バッテリの劣化を防ぐため、使用後は、強い日射や高温となる車内に放置しないでください。
- 電源をオンにすると時計設定画面が表示される場合、内蔵バッテリが放電していますので、充電を行ってください。

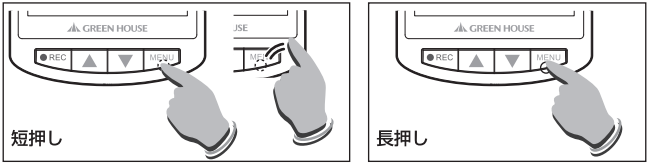
自動録画について

本体に microSDメモリーカードを挿入した状態で電源が入ると、自動的に録画が開始されます。

- 録画中の動作モード変更や設定メニュー表示はできません。動作モードの変更や設定メニューの表示を行いたい場合は、「REC」ボタンを押して録画停止を行なってから操作してください。

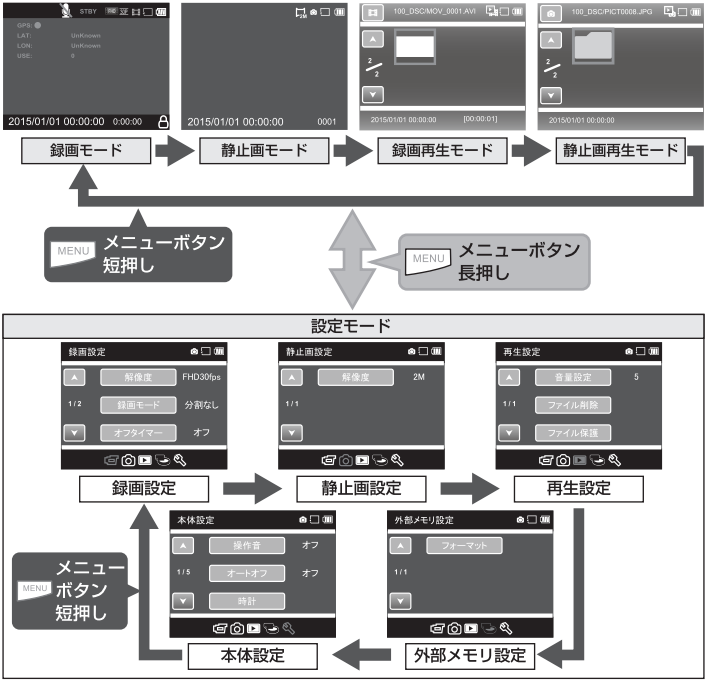
操作説明 / 画面表示

基本的なボタン操作に「長押し」と「短押し」があります。
「短押し」をする場合は、ボタンを押したら、すぐに離してください。（ボタンを離した後、画面が切り替わるまで、少々時間がかかる場合があります。）
「長押し」をする場合は、ボタンを押したら、画面が切り替わるまで押し続けてください。

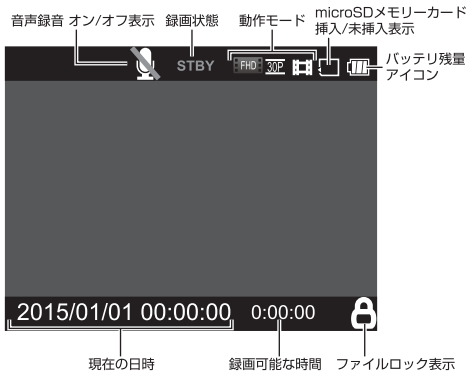


モード切り替え操作

メニューボタンを短押し / 長押しすることで、下図のようにモードを切り替える事ができます。



録画モード



電源ボタン	短押し	画面OFF
	長押し	電源OFF
RECボタン	短押し	録画開始
	長押し	
上ボタン	短押し	
	長押し	動体検知録画開始/停止
下ボタン	短押し	音声録音 OFF/ON
	長押し	
MENUボタン	短押し	モード切替
	長押し	設定モード

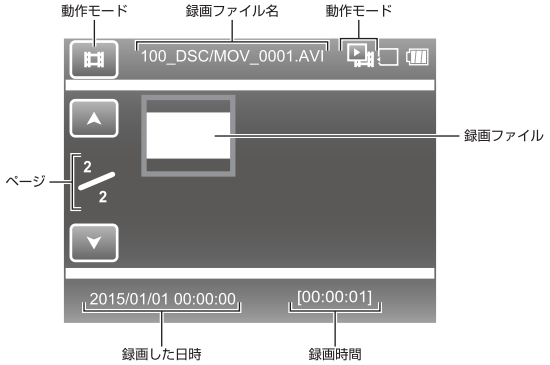
録画中

電源ボタン	短押し	画面OFF
	長押し	電源OFF
RECボタン	短押し	録画停止
	長押し	
上ボタン	短押し	
	長押し	
下ボタン	短押し	音声録音 OFF/ON
	長押し	
MENUボタン	短押し	ファイルのロック/ロック解除
	長押し	

静止画モード

電源ボタン	短押し	画面OFF
	長押し	電源OFF
RECボタン	短押し	静止画撮影
	長押し	
上ボタン	短押し	ズームイン
	長押し	
下ボタン	短押し	ズームアウト
	長押し	
MENUボタン	短押し	モード切替
	長押し	設定モード

録画再生モード（ファイル選択画面）

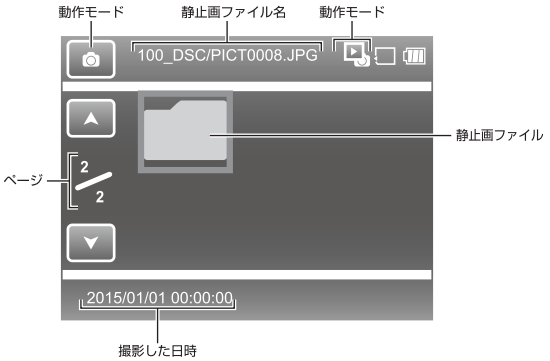


電源ボタン	短押し	画面OFF
	長押し	電源OFF
RECボタン	短押し	動画再生
	長押し	
上ボタン	短押し	前のファイルへカーソル移動
	長押し	
下ボタン	短押し	次のファイルへカーソル移動
	長押し	
MENUボタン	短押し	モード切替
	長押し	設定モード

録画再生モード（ファイル再生中）

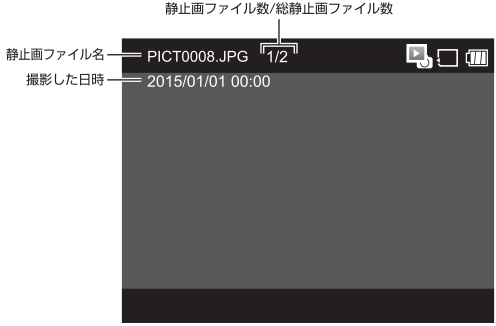
電源ボタン	短押し	画面OFF
	長押し	電源OFF
RECボタン	短押し	一時停止
	長押し	
上ボタン	短押し	早戻し（x2、x4、x8）
	長押し	
下ボタン	短押し	早送り（x2、x4、x8）
	長押し	
MENUボタン	短押し	ファイル選択画面に戻る
	長押し	設定モード

静止画再生モード（ファイル選択画面）



電源ボタン	短押し	画面OFF
	長押し	電源OFF
RECボタン	短押し	静止画の全画面表示
	長押し	静止画の全画面表示
上ボタン	短押し	前のファイルへカーソル移動
	長押し	
下ボタン	短押し	次のファイルへカーソル移動
	長押し	
MENUボタン	短押し	モード切替
	長押し	設定モード

静止画再生モード（静止画全画面表示中）



電源ボタン	短押し	画面OFF
	長押し	電源OFF
RECボタン	短押し	ファイル選択画面に戻る
	長押し	
上ボタン	短押し	前の静止画を表示
	長押し	
下ボタン	短押し	次の静止画を表示
	長押し	
MENUボタン	短押し	ファイル選択画面に戻る
	長押し	設定モード

設定モード

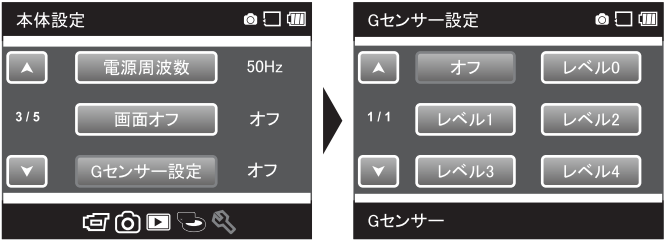
電源ボタン	短押し	画面OFF
	長押し	電源OFF
RECボタン	短押し	決定
	長押し	
上ボタン	短押し	項目移動
	長押し	
下ボタン	短押し	項目移動
	長押し	
MENUボタン	短押し	設定メニューの移動
	長押し	戻る

Gセンサーについて

Gセンサーとは？

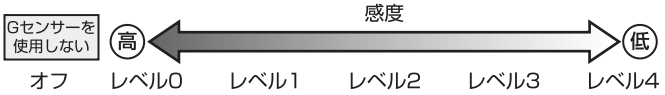
G(加速度)センサーとは、車両にかかる加速度を計測し、急停止や衝突など動きを検出します。
本製品では、車の急な動きを検出すると、その時間に録画していたファイルを上書きされないようにファイルロックします。

本体設定 (P.35) の「G センサー設定」をレベル 0(感度：高) ～レベル 4(感度：低) の値に設定してください。



Gセンサー設定について

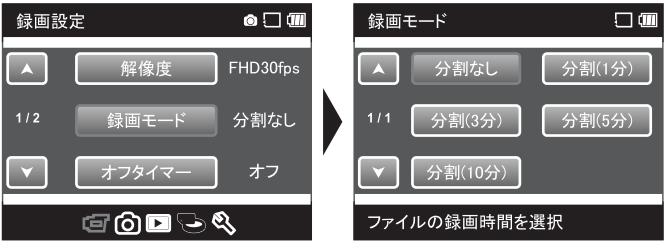
●Gセンサー設定の初期値は「オフ」になってます。使用される車種や運転状況、道路状況に応じてレベルの設定をお願いします。



●設置状況や走行状況により、衝撃の検知ができたり、検知ができなかったりすることがあります。
●低速での衝突や相手車両との相対速度が小さい状態での衝突などでは、衝撃の検知ができないことがあります。
●バンパーやドア、タイヤボックスといった車両の衝撃緩和箇所への衝突などでは、衝撃の検知ができないことがあります。
●衝突の相手車両が軽量であったり、相手方が人や自転車などでは、衝撃の検知ができないことがあります。
●衝撃が受け流されるような、相手車両に対して平行に近い状態での衝突などでは、衝撃の検知ができないことがあります。
●タイヤと路面との摩擦が少ない雪道や凍結路で急ブレーキをかけるなどでは、衝撃の検知ができないことがあります。
●本製品が固定されていないなど、設置状態に問題がある場合では、衝撃の検知ができないことがあります。

録画モードについて

microSD メモリーカードが挿入した状態で電源をオンする、自動的に録画が開始されます。
また、REC ボタンを押すことで、手動で録画することもできます。
「設定」-「録画設定」-「録画モード」で録画方法を選択することで、録画ファイルの録画時間を選択できます。



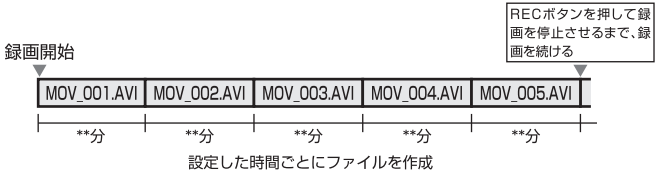
分割なし

録画モードの設定を「分割なし」にすると、1回の録画で録画ファイルは分割されず１つとなります。
録画中に空き容量が無くなった場合、その場で録画は停止されます。

●1ファイルが4GBを超える場合は、2ファイルに分割されます。

分割 (1分/3分/5分/10分)

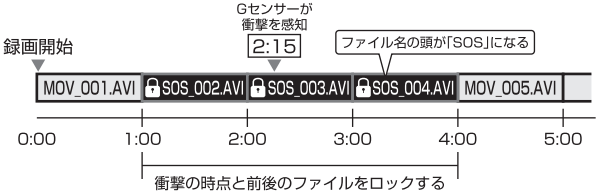
録画モードの設定を「分割（** 分）」にすると、** 分毎の録画ファイルを作ります。録画中に空き容量が無くなった場合、古い録画ファイルから順に上書きする形で録画を続けます。



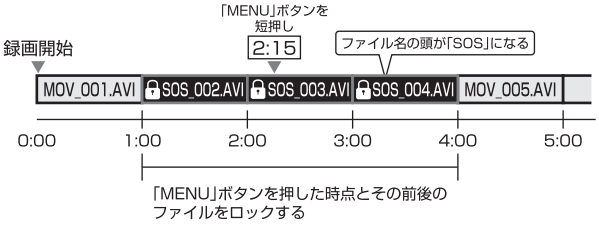
ファイルロックについて

ファイルロックは、Gセンサー設定がオンの状態で、衝撃を感知した時や、録画中に「MENU」ボタンを短押した時にファイルがロックされます。ロックされたファイルは解除するまで上書きされません。

■Gセンサー設定をオンにした状態で録画中に衝撃を感知した場合、衝撃を感知した時点で録画中のファイルと、その前後のファイルをロックします。



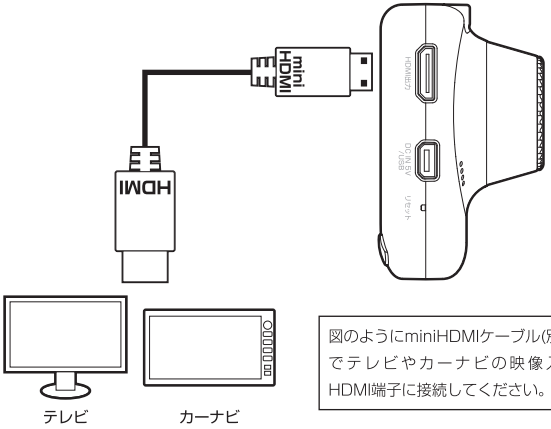
■録画中に「MENU」ボタンを短押しした場合、「MENU」ボタンを短押しした時点で録画中のファイルと、その前後のファイルをロックします。



外部出力について

HDMI 出力

miniHDMI出力端子に別売りの miniHDMI ケーブルを接続することで、本製品の画面を出力することができます。

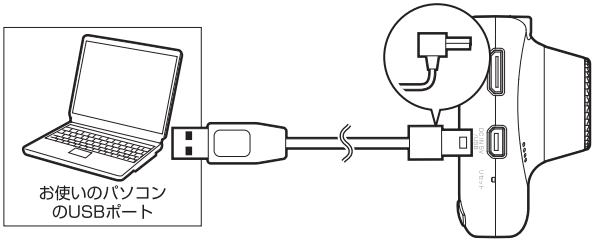


図のようにminiHDMIケーブル(別売り)でテレビやカーナビの映像入力用HDMI端子に接続してください。

1. 本体のモードを「録画再生モード」か「静止画再生モード」にしてください。
2. 本体右側面のminiHDMI出力端子にminiHDMIケーブルを接続し、もう一方をテレビやカーナビの映像入力用HDMI端子に接続してください。
3. 本体の液晶ディスプレイが消え、HDMI出力先に本体の画面が表示されます。
4. 本体からminiHDMIケーブルを取り外すと、本体の液晶ディスプレイが表示されます。

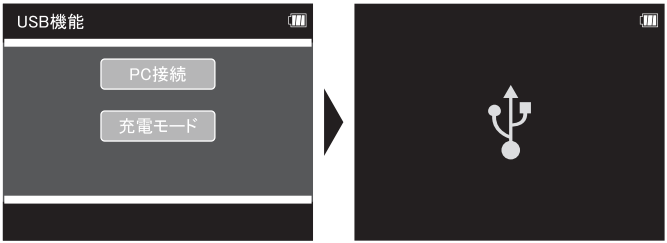
録画したファイルをパソコンに取り込む

①本体左側面のminiUSBポートとパソコンのUSBポートに付属の専用USBケーブルを接続します。



②USB機能選択画面が表示されるので、「PC接続」を選択し、「REC」ボタンを押し、決定すると本製品がパソコンにリムーバブルディスクとして認識されます。

●「充電モード」を選択するとバッテリ充電のみ行なわれ、パソコンとの通信は行われません。



③録画したファイルや撮影した静止画ファイルはリムーバブルディスク内の「DCIM」フォルダに保存されています。

本体設定

本体設定のメニュー項目は以下になります。

工場出荷時設定

録画設定	解像度	FHD 30fps			録画時の動画解像度やフレームレートを設定します。
		HD 30fps			
		HD 60fps			
		VGA 30fps			
	録画モード	分割なし			録画ファイルを時間ごとに分割するかを設定します。詳しくは「P.28 録画モードについて」を参照してください。
		分割(1分)			
		分割(3分)			
		分割(5分)			
		分割(10分)			
	オフタイマー	オフ			電源が給電されていない状態で、設定した時間が経過した場合、自動的に電源をオフにします。
		5秒			
		1分			
		5分			
	動作検知録画	5秒間			動作検知したときに録画する時間を設定します。
		10秒間			
		30秒間			
		1分間			
	音声録音	オン			音声を録音するかを設定します。
		オフ			
静止画設定	解像度	3M			静止画の撮影解像度を設定します。
		2M			
		1.2M			
		VGA			
再生設定	音量設定	10段階※工場出荷時設定は5段階目			再生時の音量を設定します。
	ファイル削除	削除	(ファイルを選択)		選択したファイルを削除します。
		全削除	録画	はい	録画ファイルか静止画ファイルをすべて削除します。
				いいえ	
			静止画	はい	
				いいえ	
	ファイル保護	保護	(ファイルを選択)		ファイルを保護/保護解除します。 保護したファイルは、削除や上書きの対象になりません。
		保護解除	(ファイルを選択)		
		全保護	録画	はい	
				いいえ	
			静止画	はい	
				いいえ	
		全保護解除	録画	はい	
				いいえ	
			静止画	はい	
				いいえ	

工場出荷時設定

外部メモリ設定	フォーマット	はい			microSDメモリーをフォーマットします。保護したファイルも消えますのでご注意ください。
		いいえ			
本体設定	操作音	オン			ボタンを押した時などの操作音のオン/オフをします。
		オフ			
	オートオフ	オフ			録画が行われていない状態で、設定した時間内に操作が行なわれなかった場合、自動的に電源をオフにします。
		30秒			
		1分			
		2分			
		3分			
		5分			
	時計	YYYYMMDD HH:MM:SS			時計を設定します。※
	日付表示	オフ			画面に日付を表示するかを設定します。
		オン			
	言語	日本語			表示言語を切り替えます。
		English			
	HDMI出力	1080i			HDMIの出力解像度を設定します。
		720p			
	電源周波数	50Hz			使用地域に合わせて、60Hz(西日本)か50Hz(東日本)に切り替えます。
		60Hz			
	画面オフ	オフ			操作の有無にかかわらず、設定した時間が経過すると画面をオフにします。
		1分			
		3分			
	Gセンサー設定	オフ			衝撃を感知した場合にファイルロックを行います。レベル0がもっとも高感度で、数字が増えるごとに低感度になります。詳しくは、「P.30 ファイルロックについて」を参照してください。
		レベル0			
		レベル1			
		レベル2			
		レベル3			
		レベル4			
	動作検知機能	オフ			動作検知のオン/オフ、感度を設定します。メニュー設定後に録画モード画面で上ボタンを長押しし、👁マークを表示させてください。停止するときは上ボタンを長押ししてください。
		低感度			
		中感度			
		高感度			
	GPS情報				※本製品では使用しません。
	初期化	する			設定を工場出荷時の状態に戻します。
		しない			
	FWバージョン				ファームウェアのバージョンなどを表示します。

※GPS信号を受信すると、自動的に日付と時間が補正されます。

製品仕様

ディスプレイ	2型 TFT液晶
ディスプレイ画素数	320×240ピクセル
撮像素子	1/3型 300万画素 CMOSイメージセンサー
レンズ	広角 IRフィルター付 F=2.0 f=3.8mm
視野角	水平:約128°/ 垂直:約65°/ 対角:約160°
有効画素	動画:200万画素/静止画:300万画素
記録ファイル形式	AVI(H.264)/JPEG
録画サイズ (フレームレート)	Full HD:1920×1080 (30fps) / HD:1280×720 (30fps) / HD:1280×720 (60fps) / VGA:640×480 (30fps)
静止画サイズ	2048×1536(3Mピクセル) / 1920×1080(2Mピクセル) / 1280×960(1.2Mピクセル) / 640×480(VGA)
対応外部メモリー	microSDカード(~2GB) / microSDHCカード(~32GB) ※FATまたはFAT32でフォーマットされた外部メモリーのみ対応
音声録音	音声録音 On/Off
録画保護機能	衝撃(Gセンサー) / 手動(ボタン操作)
録画形式	分割 なし/1分/3分/5分/10分
動作検知(モーション)機能	動作検知 オフ/低感度/中感度/高感度
映像出力解像度	1080i / 720p
搭載端子	miniUSBポート×1、microSDカードスロット×1、 miniHDMI出力端子×1、GPSアンテナ入力端子(microUSB)×1
USB規格	USB2.0(High Speed)
対応OS	Windows 8.1 / 8 / 7 / Vista
電源	DC 5V (USB給電)
シガーソケットアダプタ	入力:DC 12V / DC 24V
動作時間(バッテリ)	出力:DC 5V / 1.0A 約15分(スタンバイ時) / 約10分(録画時)
充電時間(バッテリ)	約 1時間 15分
動作温度範囲	-10℃~65℃
動作湿度範囲	10%~80%(結露なきこと)
外形寸法	W 52×D 35×H 59 (mm)
本体重量	約 51g
保証期間	1年間

トラブルシューティング

Q. 電源が入らない

A1. 内蔵バッテリが充電されているか確認してください。
A2. 専用シガーソケットアダプタは、アクセサリーソケットに接続されているか確認してください。
A3. 本体の miniUSB ポートと専用シガーソケットアダプタの miniUSB 端子は接続されてるか確認してください。
A4. アクセサリーソケットに異物やゴミ、ホコリなどが付着していないか確認してください。

Q. 画面が表示されない

A. 「オートオフ」や「画面オフ」が設定されていないか確認してください。

Q. パソコンが本製品を正しく認識しない

A1. USBポートに正しく接続されているか確認してください。
A2. 本体の電源がオンになっているか確認してください。
A3. お使いのパソコンで、接続に使用しているUSBインターフェースが正しく動作しているか確認してください。
A4. お使いのパソコンの使用しているOSが「対応OS」か確認してください。

Q. 再生時に音が出ない

A1. 音量が「0」になっていないか確認してください。
A2. 録画時に音声録音の設定がオフになってないか確認してください。

Q. 映像が記録できない

A1. microSDメモリーカードの空き容量は十分にあるか確認してください。
A2. ファイルロック(上書き禁止ファイル)が一杯でないか確認してください。
A3. microSDメモリーカードは正しく挿入されているか確認してください。
※microSDメモリーカードに異常がある場合はエラーとなり、録画が開始されません。
この場合、microSD メモリーカードを取り替えてください。
A3. microSDメモリーカード内の記録ファイルが破損した可能性があります。
microSDメモリーカードをフォーマットしてください。

Q. 急ブレーキや急加速のときでも、データが保護されなかったり、すぐに反応してしまう

A. 「Gセンサーの感度」を調整してください。

故障について

故障については、下記のサポート窓口へご相談ください。

サポート窓口	グリーンハウス テクニカルサポート
テクニカルサポートダイヤル	03-5421-0580
受付時間	10:00 ～ 12:00 / 13:00 ～ 17:00(土日祝日をのぞく弊社営業日)
FAX	03-5421-2266（24 時間受付）
住所	〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 1-19-15 ウノサワ東急ビル 5 階
ホームページ	http://www.green-house.co.jp/

- 故障やご使用上のご質問は、テクニカルサポートダイヤルへお電話いただくか、弊社ホームページにあるサポート「各種お問い合わせ」やFAXでお問い合わせください。
- お問い合わせの前に、取扱説明書「トラブルシューティング」や弊社ホームページにあるサポート「よくあるご質問」をご活用ください。
- テクニカルサポートダイヤルの受付時間は、予告なしに変更する場合があります。

・本製品は、日本国内専用に製造および販売されています。
・本製品は、日本国外では使用できません。
・本製品を日本国外で使用することによるいかなる問題に対しても、責任を負いかねます。
・本製品は、日本国外での技術サポートおよびサービスは行っておりません。
・This product is manufactured and sold for Japanese domestic market only.
・This product can not be used outside Japan.
・We have no responsibility for any issues caused by the use of this product outside Japan.
・We also do not have any technical support and service for this product in other countries.

※本書の著作権は弊社に帰属し、内容の一部または全部を無断に転載することを禁じます。
※製品のデザイン、仕様は改良などにより、予告なしに変更する場合があります。
※本書の内容は、予告なしに変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
※本書に記載の会社名や製品名は、各社の商標または登録商標です。
※本書について、お気づきの点がありましたら、弊社サポート窓口へお問い合わせください。

GREEN HOUSE™ 株式会社グリーンハウス

〒150-0013　東京都渋谷区恵比寿1-19-15 ウノサワ東急ビル5階
テクニカルサポートダイヤル TEL : 03-5421-0580
グリーンハウスホームページ : http://www.green-house.co.jp/

N1DR
Ver.1.0